令 和 ６ 年 度

八代市議会経済企業委員会記録

審　査　・　調　査　案　件

１．９月定例会付託案件　……　１
１．所管事務調査　……１８

令和 6 年 １０ 月 7 日（月曜日）

経済企業委員会会議録

令和６年１０月７日　月曜日

午前１０時０１分開議

午前１１時５４分閉議（実時間１０７分）

○本日の会議に付した案件

１．議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号（関係分）

１．議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第８号（関係分）

１．議案第９４号・専決処分の報告及びその承認について（令和６年度八代市一般会計補正予算・第５号（関係分））

１．議案１２０号・財産の取得について（追認）（能登半島地震支援置き畳）

１．議案第９０号・令和５年度八代市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

１．議案第９１号・令和５年度八代市簡易水道事業会計決算の認定について

１．所管事務調査

・産業・経済の振興に関する諸問題の調査

・水道事業に関する諸問題の調査

（八代港ポートセールスビジョンの改訂について）

（クルーズ船寄港等の現状及び経済効果について）

○本日の会議に出席した者

委員長	古嶋津義君
副委員長	木村博幸君
委員	金子昌平君
委員	谷口徹君
委員	中山諭扶哉君
委員	村川清則君

※欠席委員　上村哲三君

○委員外議員出席者中発言の許可を得た者

君

○説明員等委員（議）員外出席者

農林水産部長	豊田浩史君
農林水産部次長	村井幸治君
農地整備課長	蓑星博之君
農業振興課長	稲田忠征君
農林水産政策課長	田中和彦君
経済文化交流部長	野々口正治君
経済文化交流部次長	竹原彰吾君
港湾・クルーズ振興課長	髙田剛志君
港湾・クルーズ振興課主幹兼港湾振興係長	大江田浩隆君
港湾・クルーズ振興課主幹兼クルーズ振興係長	島田義信君
総務企画部	
泉支所地域振興課長	岩田剛君
部局外	
理事兼水道局長	吉永哲也君
水道局業務係長	吉永昇平君

○記録担当書記　松﨑広平君

（午前１０時０１分　開会）

○委員長（古嶋津義君）　それでは、定刻となり定足数に達しましたので、ただいまから経済企業委員会を開会いたします。

本日の委員会に付します案件は、さきに配付してあります付託表のとおりであります。

なお、令和２年７月豪雨並びに企業誘致用地及び新八代駅周辺整備に関連する予算、事件、条例案等につきましては、特別委員会に付託となりますので、御承知おき願います。

◎議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号（関係分）

○委員長（古嶋津義君）　最初に、予算議案の

審査に入ります。

まず、議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号中、当委員会関係分を議題とし、説明を求めます。

それでは、歳出の第５款・農林水産業費及び第１０款・災害復旧費について、農林水産部から説明を願います。

○農林水産部長（豊田浩史君）　皆さん、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）農林水産部、豊田でございます。どうぞよろしくお願いします。

それでは、議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号中、当委員会に付託されました農林水産部関係分について、村井農林水産部次長が説明いたしますので、御審議のほどよろしくお願いします。

○農林水産部次長（村井幸治君）　おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）農林水産部次長、村井でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号中、当委員会に付託されました農林水産部関係分につきまして着座にて御説明させていただきます。

○委員長（古嶋津義君）　はい、どうぞ。

○農林水産部次長（村井幸治君）　それでは、一般会計補正予算書に基づき御説明をいたします。

補正予算書の３ページをお願いします。

款５・農林水産業費、項１・農業費全体で、補正額３億９２８３万６０００円を計上し、補正後の額を３８億１９５１万８０００円とするものでございます。

また、款１０・災害復旧費、項１・農林水産業施設災害復旧費では、補正額５００万円を計上し、補正後の額を５億９２１７万８０００円とするものでございます。

次に、少しページが飛びまして、１３ページをお願いいたします。

中段の款５・農林水産業費、項１・農業費、目４・園芸振興費では、補正額４９４４万６０００円を計上し、補正後の額を８４９３万９０００円としております。

内容につきましては、右側説明欄に記載してあります３つの事業で、まず、園芸産地における事業継続強化対策事業ですが、これは、災害時の非常時における対応能力を向上させることで、農産物の安定供給を図るもので、既存ハウスの被害防止対策として、八代トマト生産管理組合が行います非常用電源４台の導入に対して、総事業費３８０万６０００円の２分の１以内に当たる１７３万円を補助するものでございます。

なお、特定財源としまして、全額県支出金を予定しております。

次の持続的畑作生産体系確立事業は、畑作生産地域における作業の効率化や基幹作業の外部委託等により労働負担の軽減を図る取組に対して支援を行うもので、株式会社タナカ農産が行います種バレイショの保冷施設の整備に対する費用１億１０９万６０００円の２分の１以内に当たる４５９５万円を補助するものでございます。

なお、特定財源としまして、全額県支出金を予定しております。

次の施設園芸産地緊急発展事業は、高齢化や離農による遊休化ハウスの増加、ハウス整備に係る費用の高騰による整備の停滞により、施設園芸産地の維持が懸念されることから、中古ハウスを有効利用するための移設費等の支援を行うもので、１実施主体が行います４連棟ハウス８６４平方メートルの移設に係る経費５８３万円の３分の１以内に当たる１７６万６０００円を補助するものでございます。

なお、特定財源として、全額県支出金を予定しております。

次に、目８・農地費では、補正額３億４３３

９万円を計上し、補正後の額を１６億１９９９万２０００円とするものでございます。

内容につきましては、まず右側説明欄に記載してあります土地改良施設突発事故復旧事業ですが、これは八代南部排水機場において４基あるポンプのうち、３号機が突然の故障により稼働ができない状態となったため、土地改良施設突発事故復旧事業補助金を活用して早期の復旧を図るもので、遠心クラッチ、減速機交換及びポンプの分解整備に係る費用３億３０００万円を計上しております。

なお、特定財源として、県支出金２億３４３０万円及び市債８６１０万円を予定しております。

また、資料として、位置図、状況写真等を添付しております。資料を御覧ください。

１ページは、左側に南部排水機場の位置、概要等を示しており、右側は排水機場の役割について記載しております。

２ページには、内部状況と各機器の役割を示しております。

稼働できない状態になった原因として、水中軸受と主軸にずれが生じ、羽車がポンプ内に接触して回転できない状態となったものでございます。

３ページには、今回整備が必要な箇所、損傷内容、整備内容等の詳細を記載しております。

予算書に戻りまして、次の市内一円土地改良整備事業は、八代平野北部土地改良区及び八代平野南部土地改良区が行います土地改良事業に対して、八代市農業農村整備事業負担割合基準に基づき、市負担分であります事業費の１３％、１３３９万円を補助するものでございます。

事業の内容としましては、国の農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金を活用して八代平野北部土地改良区が行います興善寺町ほか６か所の用水路改修及び八代平野南部土地改良区が行います砥江地区の用水機場ポンプ更新と本野地区の用水スライドゲートの更新となっております。

なお、特定財源としまして、市債１２３０万円を予定しております。

１５ページをお願いいたします。

上段の款１０・災害復旧費、項１・農林水産業施設災害復旧費、目１・林道施設災害復旧費では、補正額５００万円を計上し、補正後の額を５億７７１７万８０００円とするものでございます。

これは、令和６年６月３０日から７月１日にかけての梅雨前線豪雨により被災した林道久連子椎原線の復旧工事を行うもので、内容としては施工延長３１メートル、モルタル吹付工１６４．３平方メートル等となっております。

なお、後ほど御審議いただく専決処分の報告及びその承認についてで、本路線を含め２路線の測量・設計業務委託費を計上させていただいておりますが、そのうちの１路線についての工事費でございます。

特定財源として、県支出金３２５万円、市債１５０万円を予定しております。

また、資料として、位置図、状況写真等を添付しております。

以上で、議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号中、農林水産部関係分の説明を終わります。御審議方よろしくお願いいたします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（中山諭扶哉君）　南部排水機場の３号ポンプの件なんですけど、軸のずれが生じたということが原因ということなんですけど、もともとずれがあるというのは当たり前のことで、それはもう補正しながら動いているはずなので、軸受が恐らく壊れたのでほかのところが壊れたんじゃないかなと思うんですけど、そこら辺の原因というのはどういうふうに捉えられており

ますか。

○農地整備課長（蓑星博之君）　おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）農業整備課の蓑星です。よろしくお願いします。

今回、故障しました水中軸受なんですが、緊急的にポンプの上蓋を外しまして、中の状態を確認いたしました。通常よりもですね、ずれがですね、基準よりも超えているということで、そのずれによりまして、プロペラ、羽根車がですね、ポンプの下の下部のほうに接触して回らなくなったというふうな状況でございました。

原因につきましては、この水中軸受をですね、メーカーの工場に持ち込みまして、検査をしてみないと詳細な被害の状況は分からないというふうな状況でございます。

以上です。

○委員（中山諭扶哉君）　ありがとうございました。詳しくは見てみないとですね、分からないということだったんですけど、４号機中ですね、１台がそういうふうになったということは、恐らくほかのところもなる可能性がありますので、検査する等ですね、そこら辺の対処のほうは追加でしていただきたいなというふうに思います。

○委員長（古嶋津義君）　よろしいですか。

○委員（中山諭扶哉君）　ありません。意見でした。すいません。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（村川清則君）　同じ件で、年数、どのくらいかかって、導入した当初から何十年ぐらいたっていますかということと、整備内容について、整備を行って再利用できない場合は新品交換とありますけれども、その場合はまた新しい予算がかかるのかということを。

○農地整備課長（蓑星博之君）　お答えいたします。

八代南部排水機場は、平成３年に造成されまして、現在３３年ほど経過しているというふうな状況でございます。

それと、修繕につきましてはですね、先ほど申しましたとおり、水中軸受ですとか損傷しているプロペラ、羽根車ですね、それと主軸、この辺は工場に持ち込みまして、精度をですね、検査してみないとちょっと再利用できるか分からないというふうな状況でございます。ゆがみとかですね、亀裂とか、そういったものがございましたら、回転にですね、また不具合が出てしまうというふうな状況でございますので、工場に持ち帰りまして、精度の高い検査を行いまして、再利用できるかどうかをそこで判断するというふうな状況です。再利用ができないと判断した場合には、新品で対応するというふうに予定しております。

今回お願いしている予算につきましては、全て新品で復旧した場合の金額ということでございまして、再利用できる部品がございましたら、この金額よりも安く復旧するというふうなことで、今回、予算要求しております。

以上です。

○委員長（古嶋津義君）　最高で３億３０００万で、それより下がるちゅう意味かな。ですね。

ほかにありませんか。

○委員（村川清則君）　ほかのところも含めて、１０何か所ですかね、ポンプ場、まだありますか。ありますけれども、何か定期的に、点検とかはどのように、されているんでしょうか。

○農地整備課長（蓑星博之君）　排水機場ですが、八代市管内には主要な排水機場として２５か所ございます。

通常の点検でございますが、職員がですね、ほとんど目視の点検を行っております。機械に異常がないか、油漏れがないかとかですね、燃料の残量とかというのは、職員のほうで、週１回から、その程度行っておりますが、そのほかに電気保安協会の点検等も委託してやっており

ます。機器の点検につきましてはですね、また業者に委託しまして、予算の範囲内で、定期的には点検を各主要な機器ですね、発電機ですとか、ポンプの内部の状態を点検はしております。

以上でございます。

○委員（村川清則君）　もう古い排水機場もかなり多くて、何か非常に故障故障で困っておられて、部品がもう全国探してもないとか、いろんな話を聞きます。ぜひ、その辺のところ、市としてもですね、対処のほうよろしくお願いしたいと思います。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（金子昌平君）　施設園芸産地緊急発展事業の中で、これ、前回も質問あったかもしれませんけれども、遊休化ハウスの増加っていうところで、市内にどのぐらい遊休化ハウスっていうのがあるのか調査はされてたりとかしてますかね。

○農業振興課長（稲田忠征君）　おはようございます。農業振興課の稲田でございます。

委員お尋ねの遊休ハウスがどのくらいあるかということなんですけども、ＪＡ等ですね、関係機関に確認しましたところ、遊休ハウスというのは今現在、ほぼないということで伺っております。

以上でございます。

○委員長（古嶋津義君）　よろしゅうございますか。

○委員（金子昌平君）　はい。大丈夫です。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにございませんか。ありませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

○委員（中山諭扶哉君）　先ほどありましたが、村川委員のほうからもですね、お願いがあったということでございますけど、恐らく羽根がですね、当たるということは相当異音がしよったはずなんですよね。なので、ほかのところ、今現在２５か所あるということですので、ちょっと音に関してもですね、異音に関してもちょっとやっぱり、ちょっと調査をですね、もう追加でですね、ちょっとお願いしたいと思います。

恐らく軸受が何か不良があればですね、絶対音がするはずなので、そこら辺の確認もちょっとですね、ほかのところもしていただきたいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で歳出の第５款・農林水産業費及び第１０款・災害復旧費について終了します。

執行部入替えのため、小会いたします。

（午前１０時１９分　小会）

―――――――――――――――

（午前１０時２０分　本会）

○委員長（古嶋津義君）　本会に戻します。

次に、歳出の第６款・商工費について、経済文化交流部から説明を願います。

○経済文化交流部長（野々口正治君）　皆様、おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）経済文化交流部の野々口でございます。本日はお世話になります。

本日、経済企業委員会に付託されました予算議案、議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号及び議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第８号のうち、経済文化交流部が所管いたします分につきまして、竹原経済文化交流部次長が説明をいたします。どうぞよろしくお願いをいたします。

○経済文化交流部次長（竹原彰吾君）　おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）経済文化交流部の竹原でございます。よろしくお願いいたします。

着座にて説明させていただきます。

○委員長（古嶋津義君）　はい、どうぞ。

○経済文化交流部次長（竹原彰吾君）　それでは、議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算書・第７号をお願いいたします。経済企業委員会付託分のうち、経済文化交流部関係を説明いたします。

２ページ、３ページに第１表歳入歳出予算補正を示しておりますが、３ページの歳出の表を御覧ください。

款６・商工費、項１・商工費で、補正額１１０万８０００円を増額し、補正後の額を２２億８０２０万９０００円としております。

次に、１３ページをお願いいたします。

款６・商工費、項１・商工費、目３・観光費で、補正額１１０万８０００円を増額し、補正後の額を５億８５７３万２０００円としております。

説明欄の泉観光施設管理運営事業１１０万８０００円は、森林公園の補修整備を行うことにより、当該施設等の利用促進及び地域活性化を図るものでございます。

今回、令和６年７月１０日付で熊本県県民の未来につなぐ森づくり事業補助金の交付決定があったことに伴い、樅木吊橋と公園の森の施設整備及び機能充実を図るため、施設の補修に要する経費を補正するものでございます。

経済企業委員会資料、樅木吊橋と公園の森施設補修の概要、こちらを御覧ください。

内容といたしましては、この写真にありますとおり、つり橋床板の補修、公衆トイレの扉の設置を予定しております。また、配水管につきましては、緑色で示しております既設の配水管が１．５キロメートルと長距離で高低差もあり維持管理に支障を来しておりますことから、黄色で示しております新設の配水管を約３４０メートル布設することにより改善を図るものでございます。

なお、特定財源といたしましては、全額県支出金を予定しております。

説明については以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。ありませんでしょうか。

○委員（中山諭扶哉君）　これ、今３４０メートル通されるということで、大体口径的にはどのぐらいの口径を考えられてるんですか。

○泉支所地域振興課長（岩田　剛君）　おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）泉支所地域振興課、岩田でございます。

委員お尋ねの配水管の口径でございますが、外径が３４ミリ、内径が２５ミリのホースを使うこととしております。

○委員長（古嶋津義君）　いいですか。

○委員（中山諭扶哉君）　大丈夫です。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにございませんか。ありませんですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、これより採決いたします。

議案第９３号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第７号中、当委員会関係分については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者　挙手）

○委員長（古嶋津義君）　挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計

補正予算・第８号（関係分）

○委員長（古嶋津義君）　次に、議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第８号中、当委員会関係分を議題とし、説明を求めます。

それでは、歳出の第１０款・災害復旧費中、経済文化交流部の所管分について説明を願います。

○経済文化交流部次長（竹原彰吾君）　おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）竹原でございます。よろしくお願いいたします。

着座にて説明をさせていただきます。

○委員長（古嶋津義君）　どうぞ。

○経済文化交流部次長（竹原彰吾君）　それでは、議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計補正予算書・第８号をお願いいたします。経済企業委員会付託分のうち、経済文化交流部関係を説明いたします。

２ページの第１表、歳入歳出予算補正を御覧ください。

歳出の款１０・災害復旧費、項５・その他公共施設・公用施設災害復旧費で、補正額２５９万７０００円を増額し、補正後の額を２５９万７０００円としております。

次に、９ページをお願いいたします。

款１０・災害復旧費、項５・その他公共施設・公用施設災害復旧費で、繰り返しとなりますが、補正額２５９万７０００円を増額し、補正後の額を２５９万７０００円としております。

説明欄の商工施設災害復旧事業は、五家荘観光施設の一つである左座家のかやぶき屋根の棟が本年８月２９日から３０日の台風１０号により被災しましたことから、当該施設を復旧するものでございます。

経済企業委員会資料、商工施設災害復旧事業・左座家かやぶき屋根の棟復旧の概要、こちらを御覧ください。

台風１０号による左座家かやぶき屋根の被害状況といたしましては、資料左の写真にありますとおり、左座家かやぶき屋根の棟の部分が、今回の台風によりまして資料右の写真のとおり被災したところでございます。

今回の災害復旧におきましては、被災した棟の中央部からの雨漏りを防止するための応急修繕を先行して実施するための修繕料として、需用費３１万８０００円、棟の部材でありますカヤ及び杉の皮などが調達できた後に本復旧のための本工事を実施する予定でございます。

なお、特定財源といたしまして、充当率１００％の市債２５０万円を予定しております。

説明については以上でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了いたします。

意見がありましたら、お願いします。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で第１０款・災害復旧費中、経済文化交流部所管分を終了いたします。

執行部入替えのため、小会いたします。

（午前１０時２９分　小会）

―――――――――――――――

（午前１０時３１分　本会）

○委員長（古嶋津義君）　本会に戻します。

次に、歳出の第１０款・災害復旧費中、農林水産部所管分について説明を願います。

○農林水産部長（豊田浩史君）　農林水産部、豊田です。よろしくお願いします。

それでは、議案第１１４号・令和６年度一般会計補正予算・第８号中、当委員会に付託され

ました農林水産部関係分につきまして、村井農林水産部次長が説明しますので、御審議のほどよろしくお願いします。

○農林水産部次長（村井幸治君）　農林水産部、村井でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第８号中、当委員会に付託されました農林水産部関係分につきまして御説明させていただきます。

着座にて御説明してよろしいでしょうか。

○委員長（古嶋津義君）　どうぞ。

○農林水産部次長（村井幸治君）　それでは、一般会計補正予算書に基づき説明をいたします。

補正予算書の２ページをお願いいたします。

款１０・災害復旧費、項１・農林水産業施設災害復旧費では、補正額８００万円を計上し、補正後の額を６億１７万８０００円とするものでございます。

８ページをお願いします。

上段の款１０・災害復旧費、項１・農林水産業施設災害復旧費、目１・林道施設災害復旧費では、補正額８００万円を計上し、補正後の額を５億８５１７万８０００円とするものでございます。

これは、令和６年８月２９日から３０日にかけての台風１０号により被災した林道坂本山江線などの７路線３１か所において、土砂、倒木の撤去や横断暗渠等の修繕工事を行うものでございます。

なお、特定財源として市債５２０万円を予定しております。

また、資料として、位置図、状況写真等を添付いたしております。

以上で、議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第８号中、農林水産部関係分の説明を終わります。御審議方よろしくお願いいたします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、これより採決いたします。

議案第１１４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第８号中、当委員会関係分については、原案のとおり決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者　挙手）

○委員長（古嶋津義君）　挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第９４号・専決処分の報告及びその承認について（令和６年度八代市一般会計補正予算・第５号（関係分））

○委員長（古嶋津義君）　次に、事件議案の審査に入ります。

議案第９４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第５号中、当委員会関係分に係る専決処分の報告及びその承認についてを議題とし、説明を求めます。

それでは、歳出の第５款・農林水産業費及び第１０款・災害復旧費について、農林水産部から説明願います。

○農林水産部長（豊田浩史君）　それでは、議案第９４号・専決処分の報告及び承認について、令和６年度八代市一般会計補正予算・第５号のうち、当委員会に付託されました農林水産部関係分につきまして、村井農林水産部次長が説明しますので、御審議のほどよろしくお願いします。

○農林水産部次長（村井幸治君）　引き続きまして、農林水産部、村井でございます。よろしくお願いいたします。

着座にて御説明いたします。

○委員長（古嶋津義君）　どうぞ。

○農林水産部次長（村井幸治君）　それでは、議案第９４号・専決処分の報告及びその承認について、令和６年度八代市一般会計補正予算・第５号中、当委員会に付託されました農林水産部関係分につきまして、御説明させていただきます。

令和６年度八代市一般会計補正予算書・第５号の６ページをお願いいたします。

款５・農林水産業費、項１・農業費で、補正額２１１２万円を計上し、補正後の額を３４億２６６８万２０００円とするものでございます。

また、款１０・災害復旧費、項１・農林水産業施設災害復旧費で、２６００万円を計上し、補正後の額を５億８７１７万８０００円とするものでございます。

次に、１２ページをお願いいたします。

上段、款５・農林水産業費、項１・農業費、目３・農業振興費で、補正額２１１２万円を計上し、補正後の額を１３億８２３３万１０００円とするものでございます。

内容につきましては、右側説明欄に記載してあります新規就農者育成総合対策事業で、これは経営発展支援事業補助金を活用して、農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、就農後の経営発展のための機械・施設等の導入に対して支援するもので、鏡町、千丁町、昭和の３地区、３経営体が実施しますイチゴのパイプハウス及び花苗の鉄骨ハウス等の整備であり、総事業費３５６９万１０００円に対し、国２分の１及び県４分の１以内を合わせた２１１２万円を補助するものでございます。

このたび、６月２７日付で内示があり、通常であれば９月補正にて要求するところでありますが、本事業は単年度事業で年度内完了が求められており、９月補正での対応となると、事業期間が確保できず、年度内完了が難しくなることから、専決処分を行ったところでございます。

なお、特定財源として全額県支出金を予定しております。

次に、中段の款１０・災害復旧費、項１・農林水産業施設災害復旧費では、補正額２６００万円を計上し、補正後の額を５億８７１７万８０００円とするものでございます。

まず、目１・林道施設災害復旧費では、補正額１１００万円を計上し、補正後の額を５億７２１７万８０００円とするものでございます。

資料を御覧ください。

これは、令和６年６月３０日から７月１日までの梅雨前線豪雨により被災した泉支所管内の林道久連子椎原線・被災延長３１メートルと、東陽支所管内の林道池の原走水線・被災延長２０メートルの復旧に係る測量設計業務を委託するものですが、早期に災害査定を受け、復旧を図る必要があることから、専決処分としたものでございます。

なお、林道久連子椎原線におきましては、先ほど９月補正予算にて工事請負費の審議をいただいたところです。

特定財源として市債９９０万円を予定しております。

また予算書にお戻りください。

次の目２・農業施設災害復旧費は、補正額１５００万円を計上しております。

内容としましては、麓川排水路の土砂撤去・除草等１８００メートル及び土のう設置に係る修繕料でございます。

ここで資料を御覧ください。

これは、令和６年６月２０日から２１日にかけて、梅雨前線豪雨により麓川排水路と並走する不知火幹線用水路の底面の基礎部分に水が流入し、約５５０メートルにわたり幹線用水路を押し上げ、傾斜・段差等が生じるとともに、さらにその幹線用水路西側に並走する市道を洗掘し、道路の陥没が発生したものでございます。

また、洗掘された土砂が麓川排水路に堆積しており、このままの状態ではさらに被害が拡大する状況であったため、専決処分により早急に排水改善のための土砂撤去・除草等及び幹線用水路底面への水流入防止対策として土のう設置を行ったものでございます。

なお、用水路及び道路陥没部分の応急仮復旧は、不知火幹線用水路所有者である農林水産省が直轄にて行っており、本復旧においても同じく直轄災害復旧事業で令和６年度から７年度にかけて行う予定となっております。

以上で、議案第９４号・専決処分の報告及びその承認について（令和６年度八代市一般会計補正予算・第５号（関係分））の説明を終わります。御審議方よろしくお願いいたします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（谷口　徹君）　農業施設災害復旧事業の麓川排水路の件ですけれども、土のうの設置でもう洗掘の対策は終了ということでよろしいんですかね。

○農地整備課長（蓑星博之君）　農地整備課、蓑星です。よろしくお願いします。

洗掘の防止の対策としましては、大型土のうをですね、麓川排水路に設置しております。用水路の底面に水が浸入しないような対策ということで市のほうで行っております。

農政局のほうでもですね、用水路がこれ以上傾かないようにということで、用水路の中に大きな石をですね、置いたりとか、浮かないようなですね、対策をしております。

以上でございます。

○委員（谷口　徹君）　ありがとうございました。

それと土砂の撤去ですけども、これ、山からの雨で流されてきた土砂がたまっているのかなと思うんですけども、定期的な土砂の撤去は今後必要だと思うんですけども、その辺をお聞かせ願いたいと思います。

○農地整備課長（蓑星博之君）　土砂の撤去でございますが、麓川排水路につきましては、土砂のしゅんせつのですね、地域要望が毎年上がっておりまして、毎年予算を組んで対応しております。今後もですね、土砂がたまった場合はしゅんせつの対応をしてまいりたいと考えております。

以上です。（委員谷口徹君「分かりました」と呼ぶ）

○委員長（古嶋津義君）　よろしゅうございますか。

ほかにありませんか。

○委員（中山諭扶哉君）　ここは私も見させていただいたんですけど、ここの排水路を渡っていく橋が、地盤というか橋脚が落ち込んでて、そこを仮で今つないである状態になっていますけど、そこら辺の状況って今どういうふうな、状況と対策が考えられているか。

○農地整備課長（蓑星博之君）　お答えいたします。

不知火幹線用水路が被災したときにですね、農業用の通路と申しますか、３か所ほどございました。農政局の対応によりましてですね、現在は単管パイプによりまして、仮設で農業用の道路を造っておるところですが、これにつきましても、国が行います直轄災害復旧事業で復旧するというふうなことになっております。

以上です。

○委員（中山諭扶哉君）　ありがとうございます。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（金子昌平君）　すいません、別の話なんですけど、新規就農者育成総合対策事業の中で、今回、施設だとか機械導入に向けた支援というところで、このハード面に対してソフト面ですね、経営に対する勉強会とか何かそういった取組とかを連携してやられるのかというのを、

あれば聞きたいんですけど。

○農林水産政策課長（田中和彦君）　農林水産政策課、田中です。よろしくお願いいたします。

今お尋ねの件ですけれども、新規就農者の方に対しましては、私どものほうから指導員のほうを、指導員といいますか、職員のほうが巡回でまず御訪問させていただいて、経営面とかの御相談をお伺いしております。

また、新規就農者向けのですね、農業講座とかも開きまして、経営面だけでなくて、例えばいわゆるパソコン系の操作の研修であったり、そういう部分も市のほうで研修会を開いておりまして、その参加等を呼びかけたりとか、そういう部分で、技術面っていうのは私どものほうじゃないんですけども、どちらかというと経営面とかのほうでもそういう新規就農者の方をサポートしてやっているところでございます。

以上です。

○委員（金子昌平君）　ありがとうございました。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

○委員（木村博幸君）　先ほどのですね、不知火幹線用水路の件です。非常に原因とかそういったところがまだよくはっきり見えてはおりませんけど、幹線用水路のやっぱり破損というのが、非常に農家の方々にとっては生命線です。一旦破損するとかなり工期もかかるみたいですし、雨期になるとですね、補修もままならないということになりますから、今後ですね、検討を、やっぱり非常にこの辺の原因については究明をしていただきたいなと本当思っております。

一旦やっぱり降るとですね、どおっと来ますが、裏面が山ですので、こちらのほうにたくさん降ったということで、ここの麓川排水路ですか、ここにたくさん水がたまるという現象になったかと思います。たまたま地盤が弱いところが、そこに潜り込んで、この幹線用水路がたまたま空でしたので、浮力でよって浮いたような、お舟に乗ったような格好で、それで持ち上がって３か所ずれたのかなと。私も現場を見に行ったんですが、そういうイメージでおりました。

というならば、やっぱり排水路のほうをですね、そこはきちんとやっぱり整備を今後していただくような何かそういう要望でも出しながら、きちんとたまったやつは逃がすというところもですね、今後必要ではないかなとちょっと個人的には思っているところですので、きちんとした原因の追究をですね、お願いしておきたいと思います。

○委員長（古嶋津義君）　意見としてお願いします。

ほかに意見ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、これより採決いたします。

議案第９４号・令和６年度八代市一般会計補正予算・第５号中、当委員会関係分に係る専決処分の報告及びその承認については、承認するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者　挙手）

○委員長（古嶋津義君）　挙手全員と認め、本件は承認されました。

◎議案第１２０号・財産の取得について（追認）（能登半島地震支援置き畳）

○委員長（古嶋津義君）　次に、議案第１２０号・能登半島地震支援置き畳に係る財産の取得について（追認）を議題とし、説明を求めます。

○農林水産部長（豊田浩史君）　それでは、議案第１２０号・財産の取得について（追認）（能登半島地震支援置き畳）、稲田農業振興課長が説明いたしますので、御審議のほどよろし

くお願いいたします。

○農業振興課長（稲田忠征君）　こんにちは。農業振興課の稲田でございます。

それでは、議案第１２０号・財産の取得について（追認）（能登半島地震支援置き畳）につきまして、着座にて説明させていただきます。

本件は、令和６年３月定例会にて御承認いただきました令和６年能登半島地震支援事業におきまして、被災地支援のために寄贈しました置き畳を熊本県畳工業組合八代支部及び有限責任事業組合城南畳睦会から３１６８万円で買い入れたもので、予定価格２０００万円以上の動産を取得する場合には、八代市有財産の取得又は処分に関する条例第２条の規定により、議会の議決を経て取得すべきところでありましたが、議会の議決を経ずに取得していたことから、追認をお願いするものです。

御審議のほどよろしくお願いいたします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（谷口　徹君）　相手方が２団体ありますけれども、有限責任事業組合城南畳睦会、こちらをちょっと説明していただきますか、どういった構成がされてるのか。

○農業振興課長（稲田忠征君）　こちらのですね、城南畳睦会というのは八代市内の畳店１２社ですね、こちらのほうが会員となってらっしゃる組合ということになります。

以上でございます。（委員谷口徹君「ありがとうございました」と呼ぶ）

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（中山諭扶哉君）　すいません。じゃあ、同様に、熊本県畳工業組合八代支部はどれだけの会社で成り立ってるんでしょうか。

○農業振興課長（稲田忠征君）　こちらの熊本県畳工業組合八代支部のほうですけども、八代市内４件ですね、４件の事業所で構成されております。

以上でございます。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（中山諭扶哉君）　今回、地震の後にですね、豪雨災害、雨ですね、が起きたわけですけど、そちらのほうでまた追加というのは考えられているかどうか、ちょっと教えていただきたいです。

○農業振興課長（稲田忠征君）　現在ですね、被災地のほうの自治体というのが、対応がかなり厳しい状況ではないかというふうに考えております。ですので、今後ですね、機会を見まして、まずニーズ等の情報収集ですね、そちらのほうをさせていただきまして、検討を行ってまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（谷口　徹君）　この財産取得の分の畳ですけれども、もう既に全て設置済みということでしょうか。

○農業振興課長（稲田忠征君）　こちらのですね、置き畳のほうですけども、昨年度末、３月１４日から令和６年５月３１日の間にですね、全て配付を終わっております。一部、仮設住宅等にはですね、私どもで直接お持ちしたというところもございます。あとはですね、その市の自治体のですね、物資の拠点、そういったところに配送を行っております。ですので、確認を取ってはおりませんけども、一部支援物資の拠点というところに配送した分に関してはですね、皆さん、被災地の方のところに届いているかというのはちょっと把握できておりません。

以上です。（委員谷口徹君「ありがとうございました」と呼ぶ）

○委員長（古嶋津義君）　課長、職員も２名ばっか連れていった。それも言うとったほうがよかろ。（笑声）

○農業振興課長（稲田忠征君）　ありがとうございます。実際、八代市の職員、あと氷川町の

職員、八代市の場合は４回ほど職員２名を行かせまして、そこで直接、自治体であったり仮設住宅、こちらのほうに配付をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了いたします。

意見がありましたら、お願いします。

○委員（中山諭扶哉君）　床上浸水等ですね、あっとりますけど、もしもですね、今回配付したところが、再度、床上浸水とかでまた被災されたというところがあればですね、ちょっと柔軟にですね、対応していただきたいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、これより採決いたします。

議案第１２０号・能登半島地震支援置き畳に係る財産の取得について（追認）は、可決するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者　挙手）

○委員長（古嶋津義君）　挙手全員と認め、本件は可決されました。

執行部入替えのため、小会いたします。

（午前１０時５５分　小会）

―――――――――――――――

（午前１０時５７分　本会）

◎議案第９０号・令和５年度八代市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

○委員長（古嶋津義君）　本会に戻します。

次に、決算議案の審査に入ります。

議案第９０号・令和５年度八代市水道事業会計利益の処分及び決算の認定についてを議題とし、説明を求めます。

○理事兼水道局長（吉永哲也君）　おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）

議案第９０号・令和５年度八代市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について、着座にて説明させていただきます。

○委員長（古嶋津義君）　どうぞ。

○理事兼水道局長（吉永哲也君）　令和５年度八代市水道事業会計決算書をお願いします。

初めに、事業報告書でございますが、２０ページをお願いします。

経営指標に関する事項でございますが、５つの経営指標のうち、経営の健全性を示す経常収支比率、料金回収率ともに、退職給付費や動力費の減少により、前年度から増加しております。健全経営の水準とされる１００％を大きく上回っており、良好な経営状況と言えます。

２２ページをお願いします。

２００万円以上の建設改良工事の概況と令和４年度からの繰越工事の概況を掲載しております。

２５ページをお願いします。

給水人口や有収率など、業務量を掲載しておりますが、説明は省略させていただきます。

ページを戻りまして、３ページから６ページが決算報告書でございます。

決算の内容につきましては、前年度との比較をしております別紙関係資料１で説明させていただきます。

なお、収益的収支につきましては、損益計算書に合わせまして、消費税抜きの数値で作成しております。

まず、収益的収支の収入でございますが、項１・営業収益５億１３５７万８０００円のうち、目１・給水収益は５億１０６８万３０００円でございます。

目２・受託工事収益５５万２０００円は、給水工事収益及び消火栓の修繕工事収益で、目３

・その他の営業収益２３４万３０００円は、督促手数料などの手数料収入でございます。

次に、項２・営業外収益２２４０万５０００円のうち、目１・受取利息は６万円、目２・他会計補助金４５万６０００円は、企業職員１名分の児童手当に係る一般会計補助金でございます。

目３・長期前受金戻入は１８４１万２０００円、目４・雑収益３４７万７０００円は、主に量水器取替評価差額でございます。

以上、収入の合計は５億３５９８万３０００円となっております。

次に、収益的支出でございますが、項１・営業費用は４億６９万９０００円で、内訳といたしまして、目１・原水及び浄水費７１００万６０００円は、水源地関係の費用でございます。

目２・配水及び給水費６８２４万円は、配水管や給水施設に係る費用で、目３・受託工事費１３００万３０００円は、新規給水工事の管理及び既設給配水管切替え工事等の受託に要する費用でございます。

目４・総係費８９３７万４０００円は、料金徴収など一般業務関係の費用で、前年度からの減少は、退職給付費が減少したことによるものでございます。

目５・減価償却費は１億５４０８万円、目６・資産減耗費は４９９万６０００円でございます。

次に、項２・営業外費用１３５８万８０００円は、主に企業債に係る支払利息でございます。

次の項３・特別損失５１万５０００円は、過年度分の調定減などによる過年度損益修正損でございます。

以上、支出合計は４億１４８０万２０００円で、資料の右下の欄になりますが、収益的収支は１億２１１８万１０００円の当年度純利益が生じました。

次に、資本的収支の収入でございますが、項１・工事負担金は２８２６万６０００円で、内訳といたしまして、目１・他会計負担金４２３万５０００円は、消火栓設置に係る一般会計負担金でございます。

目３・その他工事負担金２４０３万１０００円は、下水道工事に伴う水道管移設補償金でございます。

企業債につきましては、借入れはございませんでした。

以上、収入合計は２８２６万６０００円となっております。

次に、資本的支出でございますが、項１・建設改良費３億７３８万４０００円で、内訳といたしまして、目１・原水設備改良費９５８３万６０００円は、主に令和４年度からの繰越事業である建馬水源地電気設備更新工事や八代水源地高圧受電盤改良工事でございます。

目２・配水設備拡張費１億５１０４万６０００円ですが、給水区域内に新たに配水管を拡張するもので、公共下水道工事と同時施工等により、八千把、太田郷、郡築、宮地地区の配水管未整備区域へ７３５メートルを布設しております。

目３・配水設備改良費５６３８万２０００円は、宮地地区の老朽管の布設替え工事１０７５メートルを施工しております。

目４・営業設備費４１２万円は、インボイス制度対応のためのシステム改修や量水器の購入に要した費用でございます。

なお、工事箇所につきましては、関係資料２に記載しておりますので、御確認ください。

また、建設改良費のうち、原水設備改良事業３４６万７０００円、配水設備拡張事業１２６万５０００円、配水設備改良事業５７６３万２０００円を年度内に完了できず、次年度へ繰り越しております。

次に、項２・企業債償還金は６８５６万３０００円でございます。

以上、支出合計は３億７５９４万７０００円となり、下の欄でございますが、資本的収支の不足額３億４７６８万１０００円については、減債積立金取崩し額などで補填しております。

決算書にお戻りください。

１１ページが、剰余金計算書でございます。利益剰余金のうち、未処分利益剰余金ですが、当年度変動額として、積立金の取崩し額１億９７９万２６１９円と当年度純利益１億２１１８万１４７４円を合わせました２億３０９７万４０９３円が当年度末残高となります。

１２ページは、剰余金処分計算書でございます。これは、本議案の議決事項である利益の処分でございまして、当年度未処分利益剰余金２億３０９７万４０９３円のうち、７１８３万２９１４円を減債積立金に、４９３４万８５６０円を建設改良積立金に積み立て、減債積立金及び建設改良積立金の取崩し額の計１億９７９万２６１９円を資本金へ組み入れることを議決いただくものでございます。

今後も、水道未普及地域の解消を目指し、拡張事業も継続していきますが、安心・安全な水を継続して提供していくためにも、老朽化した施設の更新や管路の耐震対策にも積極的に取り組んでまいります。

以上、説明を終わります。御審議方よろしくお願いします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了します。

意見がありましたら、お願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、これより採決いたします。

議案第９０号・令和５年度八代市水道事業会計利益の処分及び決算の認定については、原案のとおり可決及び認定するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者　挙手）

○委員長（古嶋津義君）　挙手全員と認め、本案は原案のとおり可決及び認定することに決しました。

◎議案第９１号・令和５年度八代市簡易水道事業会計決算の認定について

○委員長（古嶋津義君）　次に、議案第９１号・令和５年度八代市簡易水道事業会計決算の認定についてを議題とし、説明を求めます。

○理事兼水道局長（吉永哲也君）　引き続きお世話になります。水道局の吉永でございます。

議案第９１号・令和５年度八代市簡易水道事業会計決算の認定について、着座にて説明させていただきます。

○委員長（古嶋津義君）　はい、どうぞ。

○理事兼水道局長（吉永哲也君）　令和５年度八代市簡易水道事業会計決算書をお願いします。

初めに、事業報告書でございますが、２０ページをお願いします。

経営指標に関する事項でございますが、経営指標のうち経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比０．２３ポイント減の１００．２８％で、健全経営の水準とされる１００％を上回っておりますが、料金水準の妥当性を示す料金回収率については２．３８ポイント減の３８．４８％と低い水準にございます。

２１ページをお願いします。

建設改良工事の概況を掲載しておりますが、坂本配水区導・配水管移設工事や中津道配水区配水管移設工事等を実施しております。本事業は、関連工事の工期延長により、一部を令和６年度へ繰り越しております。

次に、２２ページからの業務量ですが、７月豪雨以降は、給水戸数、人口ともに減少し続け

ており、それに伴い、配水量及び有収水量も減少しております。

ページを戻りまして、３ページから６ページが決算報告書でございます。

決算の内容につきましては、別紙関係資料１で説明させていただきます。

まず、収益的収支の収入でございますが、項１・営業収益５５３８万２０００円のうち、目１・給水収益は５４８０万４０００円でございます。

目２・受託工事収益４６万８０００円は、消火栓に係る修繕工事収益で、目３・その他の営業収益１１万円は、督促などの手数料収入でございます。

次に、項２・営業外収益１億３６９０万６０００円のうち、目２・他会計補助金８７５２万６０００円ですが、職員の人件費や企業債の利子償還金に対する一般会計繰入金でございます。

目３・長期前受金戻入４９３４万１０００円、目４・雑収益３万９０００円でございます。

次に、項３・特別利益１万８０００円は、目２・過年度損益修正益でございます。

以上、収入合計は１億９２３０万６０００円となっております。

次に、収益的支出でございますが、項１・営業費用１億８０３３万１０００円のうち、目１・原水及び浄水費３２７０万３０００円は、水源関係の施設に要する費用で、目２・配水及び給水費５２１万７０００円は、配水及び給水施設に係る費用でございます。

目３・総係費４０１０万１０００円は、料金徴収関係の費用で、目４・減価償却費は、１億１６４万８０００円でございます。

次に、項２・営業外費用１１４２万２０００円は、主に企業債に係る支払利息でございます。

次の項３・特別損失３万７０００円は、過年度分の調定減などによる過年度損益修正損でございます。

以上、支出合計１億９１７９万円となり、資料右下の欄になりますが、収益的収支は５１万６０００円の純利益が生じました。

次に、資本的収支の収入でございますが、項１・企業債１０９０万円は、令和２年７月豪雨に係る災害復旧工事等に対する借入れでございます。

次に、項２・工事負担金２６３万６０００円は、坂本パーキングエリア上り線地盤改良に伴う配水管移設工事や、坂本の里一灯苑用圧送配水管移設工事に係る移設補償金でございます。

次に、項３・補助金５３４８万６０００円のうち、目１・他会計補助金５３２７万４０００円は、企業債の元金償還金などに係る一般会計繰入金でございます。

目２・災害復旧費国庫補助金２１万２０００円は、７月豪雨からの復旧工事に係る国庫補助金でございます。

以上、収入合計は６７０２万２０００円でございます。

次に、資本的支出の項１・建設改良費１５４２万１０００円ですが、目１・原水設備改良費９０万７０００円は、坂本配水区の導水管移設工事に係る工事費や、深井戸用水中ポンプの購入費などでございます。

目２・配水設備改良費１０６０万５０００円は、坂本配水区や中津道地区の配水管移設工事や、坂本パーキングエリア上り線地盤改良に伴う配水管移設工事費などでございます。

目３・営業設備費１０７３万円は、インボイス制度対応のためのシステム改修費でございます。

目４・災害復旧事業費２８３万６０００円は、坂本町板持地区、中津道地区簡易水道の災害復旧工事費でございます。

次の項２・企業債償還金は１億３２０万１０００円でございます。

以上、支出合計は１億１８６２万２０００円

となり、資料の右下に記載しておりますが、資本的収支の不足額５１６０万円につきましては、当年度分消費税資本的収支調整額などで補塡しております。

決算書にお戻りください。

１１ページをお願いします。剰余金計算書でございます。剰余金のうち利益剰余金ですが、繰越欠損金３０７５万７０７２円に当年度の純利益５１万６１３８円を加えました３０２４万９３４円が、当年度の未処理欠損金残高となります。

１２ページは、欠損金処理計算書でございます。議会の議決による処分額がございませんので、当年度末残高がそのまま処分後残高となります。

１３ページから１６ページまでが令和５年度末の貸借対照表でございますが、説明は省略させていただきます。

簡易水道事業は、施設規模も小さく、給水人口も少ないことから、効率的な事業運営が難しいことに加え、過疎化による人口減少や豪雨災害後の給水人口の減少により、料金収入は大幅に低下しており、一般会計からの繰入金により経営を維持している状況にあります。

今後は、令和２年７月豪雨により被災した球磨川流域の宅地かさ上げに伴う水道管移設工事を計画的に進める必要があることから、料金の適正化や財源の確保等により収入の確保を図るとともに、隣接する簡易水道施設の統合や集約化により将来的な更新費用や維持管理費を抑制し、欠損金の解消と経営の効率化・健全化に努めます。

以上で説明を終わります。御審議方よろしくお願いします。

○委員長（古嶋津義君）　それでは、以上の部分について質疑を行います。質疑ありませんか。

○委員（谷口　徹君）　すいません、ちょっと教えていただきたいんですけども、決算書の２０ページの上から２行目にある料金水準の妥当性を示す料金回収率、この料金回収率の分母と分子を教えてもらっていいですか。

○水道局業務係長（吉永昇平君）　こんにちは。水道局の業務係長、吉永と申します。

お尋ねの料金回収率の分母ですけれども、こちらのほうは給水原価を分母としておりまして、給水原価につきましては、年間総有収水量、これを分母としておりまして、分子につきましては、経常費用から受託工事費、また長期前受金戻入等を差し引いた金額を分子として求めております。

料金回収率の分子につきましては、供給単価のほうを計算しておりまして、供給単価につきましては、年間有収水量を分母としまして、分子は給水収益を分子として計算しております。

以上です。

○委員長（古嶋津義君）　よろしいですか。

○委員（谷口　徹君）　後で個別に教えていただきたいと思います。ありがとうございました。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で質疑を終了いたします。

意見がありましたら、お願いします。意見はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、これより採決いたします。

議案第９１号・令和５年度八代市簡易水道事業会計決算の認定については、認定するに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者　挙手）

○委員長（古嶋津義君）　挙手全員と認め、本案は認定することに決しました。

執行部は御退出ください。

（執行部　退室）

○委員長（古嶋津義君）　以上で、付託されました案件の審査は全部終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書及び委員長報告の作成については、委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　御異議なしと認め、そのように決しました。

小会します。

（午前１１時２０分　小会）

―――――――――――――――

（午前１１時２１分　本会）

◎所管事務調査

・産業・経済の振興に関する諸問題の調査

・水道事業に関する諸問題の調査

（八代港ポートセールスビジョンの改訂について）

（クルーズ船寄港等の現状及び経済効果について）

○委員長（古嶋津義君）　本会に戻します。

次に、当委員会の所管事務調査２件を一括議題とし、調査を進めます。

執行部より、産業・経済の振興に関する諸問題の調査に関連して、２件発言の申出があっておりますので、これを許します。

それでは、八代港ポートセールスビジョンの改訂について説明を願います。

○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　おはようございます。（「おはようございます」と呼ぶ者あり）港湾・クルーズ振興課課長の高田でございます。

私のほうから、八代港ポートセールスビジョンの改訂について御説明させていただきます。

着座にて失礼します。

○委員長（古嶋津義君）　どうぞ。

○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　それでは、配付資料に沿いまして御説明させていただきます。

まず、目的でございますが、八代港の国際的な物流の拠点性を高め、交流拡大と地域経済の発展などを目指すため、八代港ポートセールス協議会及び熊本県で八代港ポートセールスビジョンを５年ごとに策定してきました。

前回のビジョン策定から５年が経過しており、この間、ＴＳＭＣの熊本進出や世界的な脱炭素化、物流の２０２４年問題など大きな社会情勢の変化が起きていることから、八代市もこれまで以上に連携を深め、新たな課題に対応する必要がございます。

このため、令和元年度から令和５年度までのポートセールス活動や目標達成状況などの実績を踏まえ、今後５年間の目標や取組方針を設定した新たなビジョンを策定するものでございます。

主体につきましては、八代港ポートセールス協議会、熊本県、八代市でございます。

改訂時期でございます。まず、これまでの経過と今後の予定といたしまして、本年３月中旬までに関係機関などの意見集約を行い、６月中旬に八代港ポートセールス協議会の理事会・総会で素案を提示し、７月下旬まで２回目の関連機関等の意見集約を実施し、本日、当委員会へ報告させていただいております。

なお、改訂の時期につきましては、令和６年１０月を予定しております。

ビジョンの内容につきましては、別紙２枚目の八代港ポートセールスビジョンの概要を御覧いただければと思います。

まず、八代港の概要につきまして、地理的な位置、主な機能を上段左側に記載し、上段右側に平成１１年から令和５年までのコンテナ取扱量について掲載をしております。

ビジョンの構成についてでございますが、具体的な施策として、航路、貨物集荷、港湾機能、環境変化への対応の４つに区分し、現状と課題及び今後の方向性について整理をしております。

まず、現状と課題でございますが、航路では、コンテナ定期航路における台湾航路の航路変更を課題としており、貨物集荷では、近年国際物流の混乱に起因する貨物取扱量の減少などを課題と捉えております。

また、港湾機能では、事業用地や木材等蔵置置場の不足などを課題としており、環境変化への対応では、モーダルシフトなど７つの取組を推進する必要があると考えております。

次に、今後の方向性でございます。

航路については、半導体関連貨物のさらなる集荷による台湾航路のダブルコールの再開のほか、上海航路の新規就航をターゲットとしており、貨物集荷では、半導体関連企業へのポートセールスの強化などを掲げております。

次に、港湾機能では、臨海工業用地の整備、水深１４メーター航路の整備促進、県営工業団地の整備のほか、電子化の推進などとしております。

環境の変化への対応では、内航船の活用や小口混載需要の掘り起こしなどを掲げ、また、クルーズ船寄港の推進として、審査手続の円滑化や国内外船社への誘致活動強化を掲げております。

これらの取組により、コンテナ貨物取扱量の目標数値を令和１０年には３万ＴＥＵを目指すこととしており、中長期的目標値として４万ＴＥＵを目指すこととしております。

最後に、これらの施策により実現する八代港の将来像といたしまして、一つ、南九州から世界につながる物流のゲートウェイとして企業から選ばれる港。一つ、中国との新規航路を実現し、世界とつながる利便性の高い港。一つ、南九州の物流集積に対応できる機能が充実した港。一つ、大型クルーズ船の受入れ拠点として、くまモンポート八代を中心に観光客でにぎわう港としております。

以上で、八代港ポートセールスビジョンの改訂について説明を終わります。

○委員長（古嶋津義君）　本件について、何か質疑、御意見等はありませんか。ありませんか。

○委員（中山諭扶哉君）　前回ですね、令和元年ということだったんですけど、また５年ごとに策定しているということなんですけど、今後ですね、また５年ごとなのか、何か考えられているところがあればちょっと教えてほしいんですけど。

○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　今後５年間、これからですね、ＴＳＭＣの本格的な稼働もありますが、八代市といたしましても、国・県と連携しながら、この取組については、まずはこの５年間しっかりと方向性に向けてやっていきたいと思います。

委員の趣旨といたしましては、今後どのように行くかというのはまたそのときの状況とか、また目標達成の具合を見ながらですね、一つ一つ考えていきたいというふうに考えているところでございます。

以上でございます。

○委員（中山諭扶哉君）　５年間というスパンがいいのかどうかというところまでちょっと考えられているのかということを聞きたかったんですよね。というのは、県南に工業団地がもうできるということですから、そこら辺のことを考えられているのかどうかというのを聞きたかったんですけど、いかがでしょう。

○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　５年間のスパンというよりも、やはり社会的な情勢をですね、見ながら、随時ですね、必要に応じて適宜、改正について、方向性については、その都度その都度、変更する必要がございますが、今、現時点ではですね、取りあえずこの５年間のビジョンとしてしっかりと取組を加速させようというふうに考えているところでございます。

以上です。

○委員長（古嶋津義君）　よろしいですか。
○委員（中山諭扶哉君）　はい。
○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。
○委員（谷口　徹君）　今後の方向性の環境変化への対応のところで、立地企業等の脱炭素化の着実な取組の推進ってあるんですけども、具体的にどういったことになるか教えていただけますか。
○港湾・クルーズ振興課主幹兼港湾振興係長（大江田浩隆君）　委員お尋ねの脱炭素化の立地企業等の取組の推進についてなんですけれども、実はこちらはですね、一昨年から県のほうで関連の企業も交えた協議会、八代港の脱炭素化推進協議会というのを立ち上げておりまして、早ければ本年度の年末から年始ぐらいにかけて、ある程度の計画を県のほうからお示しいただけるというふうに伺っております。

具体的には、港湾エリアにおいて二酸化炭素の排出量が一番多いのはやはり企業活動ということなので、そこを連携してどういうふうに減少させていくかというような計画をつくっていかれるというふうに想定しております。

以上でございます。
○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。
○委員（金子昌平君）　現状と課題のところで、戦略的広報の展開ですよね。今後の方向性で熊本港と連携したポートセミナー開催等による認知度向上というのがあるんですけれども、この取組についてもちょっと具体的に教えていただければ。
○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　熊本港と連携したポートセミナーの開催等についてでございますが、毎年１回ですね、熊本県と熊本市、八代市と連携して都市部でポートセミナーを実施しているところでございます。

内容といたしましては、やはり八代港、熊本港に関連する企業が多いところ、まあ今年につきましては神戸市のほうでセミナーを行ったというところでございますが、今年度についてもですね、今のところ、熊本県と連携しながらですね、東京なのか、その辺りを今から今後詰めていきたいというふうに思っておりますので、そういうですね、認知度を向上させるためのセミナーを今後しっかりとやりながらですね、八代港の魅力ある内容を周知していきたいというふうに考えているところでございます。

以上です。（委員金子昌平君「ありがとうございました」と呼ぶ）
○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。
○委員（木村博幸君）　質問じゃなくて意見になります。（「意見は後からです」と呼ぶ者あり）
○委員長（古嶋津義君）　意見はございません。（「意見ないんですか」「今、質疑、意見です」と呼ぶ者あり）
○委員（木村博幸君）　一般質問をした手前ですね、確認の意味でちょっと意見を言わせていただきますが、一番最後のですね、環境変化の対応についてです。先ほど委員さんからありましたが、やっぱり５年というスパンというよりは、やっぱりこの急に変わる八代の状況をですね、踏まえながら、今後の方向性の一番下ですね、⑦番ですけど、関係者との連携によると。それで物流拠点構想の具現化の推進と。ちょっと簡単にまとめてありますが、非常にここの中身はですね、もう範囲が広くて濃いと思います。関係者と言ってもですね、本当、商工業者もありますし、いろんな方と、あとはですね、上部では県と国と動かしながら進めていく形になりますので、もうそこそこ思っていてもなかなか進まないことがたくさんあると思いますので、この辺についてはですね、本当慎重ですけどスピーディーにやっていただきたいなというお願いです。

物流拠点構想についてもまだいろんなですね、今から発展を秘めておりますので、この辺は遅

れを取らないようにですね、関係、特に国と県とですね、進めていただければ、これに限らず、どんどん先手先手でですね、攻めていただける、攻める八代港についてですね、ビジョンが描けるようなことをお願いしておきます。

以上です。

○委員（中山諭扶哉君）　すいません。意見、後で言おうかと思ったんですけど、今言われたようにですね、やっぱり八代港をセールスするということなので、大きな変更が出たときには、もうちっちゃな変更はですね、その都度変えてもいいと思うんですけど、大きな変更出たときにはやはり全体をですね、ちょっと見直すような作業があってもいいんじゃないかなというふうに思います。さっき言ったような、おっきな企業が来たりとか、工業団地ができたりとか、そういうふうなタイミングではですね、ここを改訂していく作業をですね、できるだけ早くしてほしいなというふうに思います。以上です。

○委員長（古嶋津義君）　はい、意見です。

ほかに質疑、御意見等はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で、八代港ポートセールスビジョンの改訂についてを終了します。

次に、クルーズ船寄港等の現状及び経済効果について説明を願います。

○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　引き続きよろしくお願いします。私のほうから、八代港におけるクルーズ船寄港状況と経済効果について御説明させていただきます。

着座にて説明させていただきます。

○委員長（古嶋津義君）　どうぞ。

○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　失礼します。

それでは、タブレット端末の資料に沿って御説明させていただきます。

１、クルーズ船の寄港状況について。

まず、クルーズ船の動向でございますが、上段の表のとおり、２０１７年に過去最高の６６回の寄港がありました。

２０２０年には、くまもんポート八代が完成いたしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で約２年間はクルーズ船の寄港はありませんでした。

２０２３年春から国際クルーズ船の寄港が再開され、２０２３年は１５回、２０２４年は３２回の寄港が予定されております。

次に、乗船客の動向でございますが、下段の表に発着地、乗客の国籍、乗客の動向、市内周遊者数について、コロナ禍前とコロナ禍以後の動向をまとめております。

まず、発着地についてでございます。コロナ禍以前は、乗船客がほとんどが中国からであり、市外向けのオプショナルツアーに参加され、八代市内の周遊者は少ない状況でございました。

コロナ禍以後は、乗船客も多様化しており、欧米や韓国、中国、台湾、日本国内などから、市内中心部などに周遊される個人旅行客が増加している状況でございます。

２ページをお願いいたします。

クルーズ船寄港時の各種取組状況でございます。ここにつきましては、くまモンポート八代・クルーズ活性化協議会が中心となり関係団体の協力をいただきながら取組を行っております。

まず、シャトルバスの運行でございますが、船社、旅行会社と連携し、中心市街地や日奈久など、シャトルバスを運行しており、効果といたしまして、中心市街地などへ乗船客の周遊につながってまいりました。

次に、観光案内・通訳では、やつしろ観光ガイド協会などと連携し、ガイドや観光案内を実施しております。効果といたしまして、市内周遊者に対する情報発信につながるとともに、受入れ対応の充実を図っています。また、学生通訳ボランティアは、日頃の成果を実践できる場

となっており、学習意欲の向上にもつながっています。

次に、ようこそスマイル隊によるお手振りでは、市民によるおもてなしを行うようこそスマイル隊が入出港時にお手振りを実施しております。講習会など啓発活動を行うことで会員数が増加しており、歓迎機運の醸成につながっています。

３ページをお願いします。

クルーズ船の入出港時のおもてなしでは、市内中高生による太鼓・吹奏楽の演奏や保育園児による出迎えを実施しております。

効果といたしまして、市民参画によるクルーズ船の歓迎機運醸成につながるとともに、乗船客の満足度が向上するなど、受入れ体制の充実につながっています。

次に、３、市内経済への効果についてでございますが、本年５月から８月の間にクルーズ船が寄港した際、乗船客や乗組員による消費額についてアンケートなどを実施し、市内周遊者の消費額、くまモンポート八代のテナント消費額、タクシー利用料金、クルーズ船乗組員の消費額の４項目について算出しました。

１、市内周遊者の消費額では、平均消費額５０００円に平均周遊者数１０４５人を掛け、１寄港当たり５２３万円と見込み、２、くまモンポート八代テナントの消費額では、平均テナント全体売上げが１寄港当たり９７万円と見込み、３、タクシー利用料金では、片側平均利用料金３０００円に、１寄港平均９０台と往復になることから、１寄港当たり５４万円と見込み、４、クルーズ船の乗組員の消費額では、平均消費額５６００円に平均数９２人を掛け、１寄港当たり５２万円と見込み、１寄港当たりの経済効果を７２６万円と算出いたしました。

令和６年に見込まれる３２寄港当たりの経済効果は約２億３０００万円と見込んでおり、別府市が令和５年に３１寄港の経済効果が２億１８００万円であることから、本市も一定の経済効果が見込まれるものと考えております。

４ページを御覧ください。

最後にクルーズ船受入れの新たな取組についてでございます。

（１）、タクシー不足の改善では、大型クルーズ船が寄港する場合には、市内のタクシー事業者だけでは対応できず、約１時間を超えるタクシー待ちが発生していました。

このため、営業区域外のタクシーが限定的にくまモンポート八代を出発地と営業できるよう、熊本運輸支局へタクシー営業区域外旅客運送の特例の申請を行い、９月に認められたところであり、タクシー不足の改善により、乗船客の円滑な周遊を図ってまいります。

次に、（２）多言語表示など情報発信の充実では、地図検索サイト、グーグルマップ上に本市の観光資源などの掲載が少なく、容易に取得できない状況があります。

また、市内周遊ルートには、多言語表示など少ない状況であります。

そのため、魅力ある情報を効果的に発信するため、グーグルマップへの情報掲載について、関係部署と連携し取り組んでいるところでございます。

さらに、お祭りでんでん館や本町商店街、日奈久地域などへ令和６年度中に多言語表示パネルを設置することとし、関係団体から意見聴取を進めているところでございます。

以上、説明とさせていただきます。

○委員長（古嶋津義君）　本件について、何か質疑、御意見等はありませんか。ありませんか。

○委員（中山諭扶哉君）　ありがとうございました。

経済効果ということで、２億３０００万円ですかね、見込まれているということであります。実際ここにかかる費用とかは計算はされているんですか。人件費とか、まとめて、これ１回の

寄港にかかっているであろう費用とかは考えられては、いるんですか。

○港湾・クルーズ振興課長（髙田剛志君）　ただいま委員のほうからですね、２億３０００万円について人件費等の効果、費用、これが含まれるかどうかというところでございますが、今回、私たちのほうで集計したアンケートでは、先ほど申しました市内周遊者の消費額等の４項目についてアンケートを整理したところでございまして、これに伴う雇用関係の人件費等は、うちのほうではちょっと今のところ計算はしてないというところでございます。

以上でございます。

○委員（中山諭扶哉君）　地域にとってもですね、もうかるんであればですね、非常にやりがいがある仕事になってくるんだろうなと思います。中にはですね、来ることによって、ちょっとやっぱり、いろいろ、人件費まではいかないですけど、手間がかかったりとか、そういうことを言われる方もやっぱりいらっしゃるものですから、そういうところに関してはもう一番最後、あるようにですね、意見聴取で、例えば、恐らく進められているところであろうというふうに思いますので、丁寧なですね、意見聴取をされて、地域への対応をしていただきたいなというふうに思います。よろしくお願いします。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（谷口　徹君）　１ページのですね、下段のところですけども、コロナ禍以前は中国発着がほとんどだったと。コロナ禍以後は、中国、台湾、日本、韓国などから来られているということで、乗船客の国籍のデータというのが取れますか。

○港湾・クルーズ振興課主幹兼クルーズ振興係長（島田義信君）　御質問ありがとうございます。

クルーズ船の乗船客の国籍ということですけれども、県のですね、港湾課のほうで管理をされておりますので、ある程度の数字というのは取れております。

委員がおっしゃっているように、去年は欧米船が結構多かったので欧米の方の来訪が多かったというところでございます。今年度につきましては、どちらかというと、また中国発着の船が増えつつありますので、中国の方の来訪が増えてきているという現状がございます。

以上になります。

○委員長（古嶋津義君）　よろしいですか。

○委員（谷口　徹君）　はい。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（木村博幸君）　観光について非常にもう市のほうもですね、いろいろ資源開発やら、前から取り組まれてると思いますが、ここ最近、爆買いが減ってきて、やっぱりいろいろ嗜好も変わられているお客様になってきていますので、オプショナルツアーに行かれない方をターゲットにですね、いろいろ考えていらっしゃると思いますが、船会社もですね、せっかくくまモンポートにはロイヤル・カリビアン社が建てたターミナルがありますので、せめてロイヤル・カリビアン社が使う例えば大きな船、クァンタムとかスペクトラム、先日もスペクトラム・オブ・ザ・シーズが来ましたが、そういったロイヤル・カリビアン社の船については、地元でこういうことがしたいという何かアンケートとかをですね、取られてはいらっしゃるのかなあとちょっと思ったところです。お聞きしたいです。

○港湾・クルーズ振興課主幹兼クルーズ振興係長（島田義信君）　御質問ありがとうございます。

ロイヤル・カリビアン社の船に対して、じゃあ、どういったおもてなしをするのかということでのアンケートは、市民に対するものということで認識してよろしいですか。（委員木村博幸君「はい」と呼ぶ）

実際、アンケート自体はですね、今、実施し

ているわけではございませんが、基本的にはロイヤル・カリビアン社が国と県とともにですね、ポートを整備した会社でございますので、そちらに対しては、おもてなし等も実施しているというところで、関係者と意見をお伺いしながらですね、ロイヤル・カリビアン社さんとも打合せをさせていただきつつ、しっかりとおもてなしをやらせていただいているところではございます。

あとは、おもてなしの団体さんとかにもですね、新しく今年度から募集をかけて、応募が来ておりますので、その方々とも意見を実際ヒアリングしながら、どういったときにどういうおもてなしをするというのは打合せはさせていただきながら、随時やらせていただいているところでございます。

○委員（木村博幸君）　ありがとうございます。

一応アンケートについてはですね、今後もずっと季節ごとにですね、八代市のいいところを魅力をですね、発信して、まだお客さんも入れ替わりでリピーターというのはほとんどないかもしれませんが、届くようなことをですね、やっていただければなと思います。

それに、意見ですけど、おもてなし隊についてもですね、非常にこの登録数は多いんですが、実際、来ていただける方ってなると、朝は早いし夜はもう遅いし、なかなかですね、難しいというのを聞いています。

それで、少しぐらい参加に協力、おもてなしに協力している方々に何か少しメリットがあるようなことをですね、少し考えていただければ、お迎えもする人もちょっと増えるのかなと思っております。やっぱり少し見ていると寂しいなという気がします。ただ手を振るだけじゃなくてですね、やっぱり笑顔でお迎えするってなると、やっぱりそこそこやっぱり人数が多いほうがいいのかなと思っておりますし、年齢層もですね、やっぱり行ける方となるとさすがに御年配の方が中心かなとちょっとお伺いしますが、そういうところではですね、おもてなし隊ではないところで、いろいろ園児とか高校生も活用されていますのでいいと思いますが、おもてなし隊に限ってはですね、何かメリットがあるようなことを少し考えていただければと思っております。よろしくお願いしときます。

○港湾・クルーズ振興課主幹兼クルーズ振興係長（島田義信君）　御意見ありがとうございます。

スマイル隊のおもてなしにつきましては、今年度中にですね、インセンティブを今つくるところで準備をしておりまして、来られた回数に応じて、例えばピンバッジを配付させていただいたり、一定数来ていただいた方に関しては船内見学に御案内するというようなところで今、準備をしておりますので、できるだけ多くの方にですね、御参加いただけるように、なかなか委員がおっしゃるように、平日、土日、そして朝、夜間といろいろ状況が異なるのもあるんですけれども、多くの方に御参加いただけるように取組を進めてまいりたいと考えております。

以上になります。

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

○委員（村川清則君）　今朝の新聞でしたか、昨日でしたか、あるいはテレビだったのか。（「今朝」と呼ぶ者あり）今朝だったですか。高校生が折り紙を何か外国の方に教えて、好評を得たということで。函館に会派視察に行ったときにですね、向こうは西洋人だけが相手ですから、書道部の人たちが書道を何か、そういう教室みたいなのを、体験っていいますか、そういうことをやって好評を受けているというようなこともございました。中国人相手に書道はないのかもしれませんけれども。あるいは何か以前は爆買いで観光、その程度だったのが、何か目的自体も体験型とかいろんな、年を追ってその目的というのも何か少しずつ変わってきてい

るような気もいたします。

その辺、神経をとがらせてですね、こういうのをやったらどうかとか、そういうことを一つ考えていただくようにお願いしたいと思います。

○港湾・クルーズ振興課主幹兼クルーズ振興係長（島田義信君）　御意見ありがとうございます。

村川委員おっしゃられていますように、コロナ禍前はですね、もう大型のクルーズ船が中国からやってきて、ほぼほぼツアーバスで市外を周遊するというのが現状でした。

実際ですね、今年に入っては、クルーズ船が入ってきた場合に、５０００人規模とした場合に、その中でツアーバスで出ていかれる方々は、おおむね３０００人弱というところで、１０００人ぐらいはですね、おおむね毎回ですね、個人旅行客としての市内周遊が見込めるという状況ではございます。

その方々をですね、市内の中心部であったり、あるいは日奈久地域だったりというところで、お買物だったり、お土産を買っていただいたり、お食事をしていただいたりという経済効果が見込めるようにですね、我々も取組を進めておりますので、あとは、一部、人数がやっぱり一斉に来られるので、オーバーツーリズムじゃないですけども、受入れ側の諸問題もございますので、地域とですね、コミュニケーションを取りながら、しっかりとおもてなしだったり体験活動ができる取組なんかもですね、今後増やしていければと思っておりますので、地元の意見を聞きつつ、進めていければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上になります。（「頑張ってください」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上でクルーズ船寄港等の現状及び経済効果についてを終了します。

執行部は御退室ください。

（執行部　退室）

○委員長（古嶋津義君）　そのほか、当委員会の所管事務調査について何かありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　なければ、以上で所管事務調査２件についての調査を終了します。

次に、閉会中の継続審査及び調査の件についてお諮りいたします。

当委員会の所管事務調査２件については、なお調査を要すると思いますので、引き続き閉会中の継続調査の申出をいたしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（古嶋津義君）　御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、本日の委員会の日程は全部終了いたしました。

これをもって経済委員会を散会いたします。

（午前１１時５４分　閉会）

八代市議会委員会条例第３０条第１項の規定により署名する。

令和６年１０月７日

経済企業委員会

委　員　長